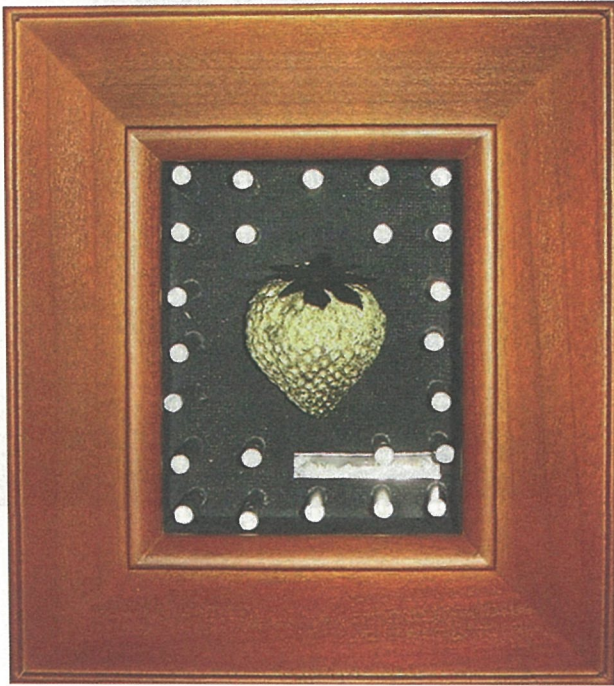


【美術科】

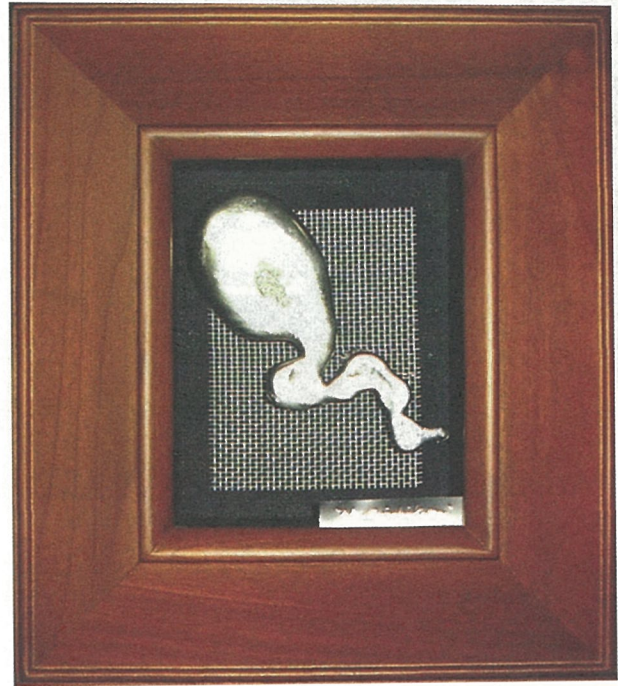
Metal Work

～金属素材による造形研究～

錦 織 秀 行



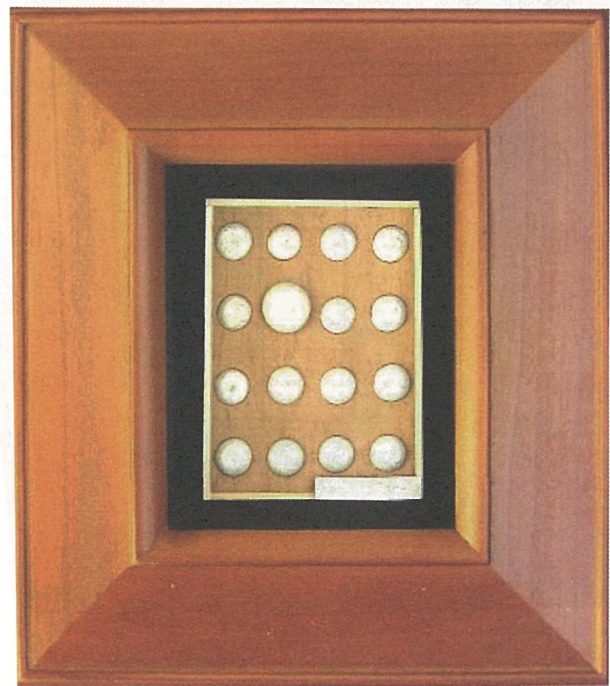
Strawberry



Stream



Overflow



Human Life



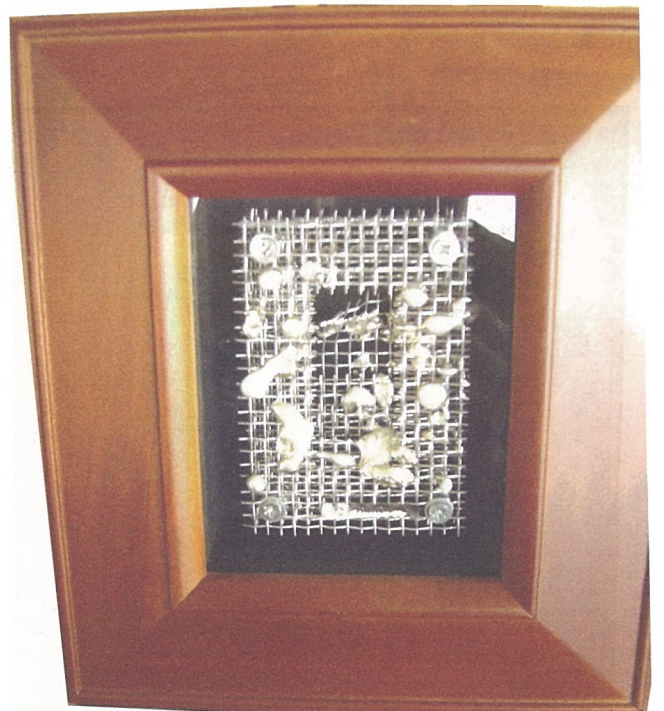
Feelings



Asparagus



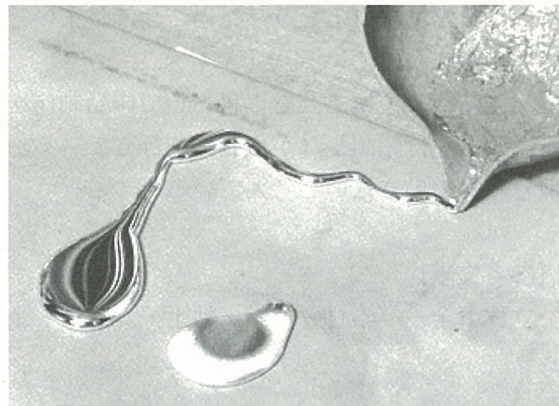
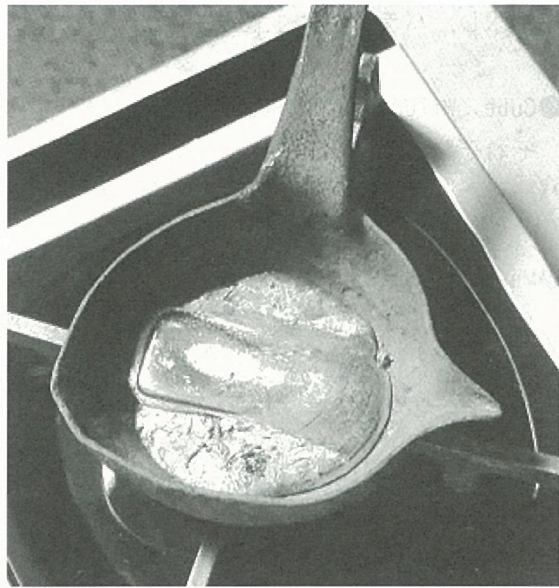
Cube



Mesh

作品を制作するにあたり、現在使用している素材で「ピューター・メタル・インゴット」という金属素材がある。この金属は錫を主体とした合金なのだが、融点が250℃前後と低く、鉄かステンレスの鍋に入れて台所のガスの火にかけると、ほんの数分から十数分でどろどろに溶けてしまう。あとはその溶けた金属を型に流し込んだりして成型し、冷やせばできあがりとなる。

実はこの「ピューター」は昔からある金属で、ヨーロッパでは食器などによく使われていた。例えばビールジョッキで蓋がついているものがあるが、その蓋の部分やジョイントのところに使われている金属がそれにあたる。この「ピューター・メタル・インゴット」はそのピューターをもとにして、いろいろな金属成分の配合を変えたものを数十種類も試作して硬すぎず柔らかすぎず、台所で加工するのにちょうどいい硬さの配分にしたものである。もちろん「ピューター・メタル・インゴット」も毒性はないので、皿やスプーンなど、人の口に触れるものを作ってもまったく問題はない。



● Strawberry/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, 塩ビ板

苺をシリコンゴムで型取りし、ピューター・メタル・インゴットを流し込んで固めたもの。素材の質感を金属でリアルに表現し、観る人の目を惹きつけたいと考えた。

● Stream/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, アルミ製網

浮遊した流れをテーマに、ピューター・メタル・インゴットで形を成型した。金属の光沢をいかし、今にも動き出しそうな感じを表現した。

● Overflow/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, 桂

ピューター・メタル・インゴットを桂に象眼し、サンダーによりテクスチュアを施し、下部から金属が溢れ出す感じをアクセントとして加えた。

● Human Life/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, 桂, シナ

「人生」というテーマで制作した。桂に穴を開け、それぞれピューター・メタル・インゴットを流し込み、大小さまざまな形が人生観を表している。最も大きいものが現在を示す。

● Feelings/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, アルミ製網, アルミ棒材

金属が絡み合い、ひとつの形を構成している。人々の複雑な感情や思いを表現させた。

● Asparagus/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, アルミ製網

「Strawberry」と同様に、アスパラガスをシリコンゴムで型取りし、鋳造したもの。素材の質感

を追求し、バランスよく配置させた。

●Cube/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, 桂, アルミテープ

それぞれのブロックにピューター・メタル・インゴットを流し込み、アクセントとしてアルミでカバーしたり、金属を垂れ流してみた。バランスとアクセントをいかした作品。

●Mesh/W170×D50×H190mm/ピューター・メタル・インゴット, 亜鉛製網, ボルト, ナット, ワッシャ

亜鉛製の工作ネットを5層に重ね合わせ、ボルトで固定。中央が階段状になるように1枚ずつ大きさを変えてくり貫いてある。また、ピューター・メタル・インゴットを溶かした状態で散りばめ、煌びやかさを表現した。

よくホームセンターに出かけるが、そこで思いもしないものに遭遇し、それが作品の一部となる。さまざまな商品を手に取り、造形的に面白いもの、魅力的なものを探しながら作品にいかせるものはないか考えているが、その時間がけっこう楽しかったりする。作品の材料（素材）として使えそうなものは日常に溢れており、見過ごしてしまいそうなものでも足を停めて手に取ってみれば、結構面白いものが転がっている。

学生時代に金属工芸を専科として作品制作を行っていたが、それからというもの金属の素材に魅力を感じ、試行錯誤しながら制作を行っている。今後もいろいろな素材と出会い、追究して作品制作に取り組んでいきたいと考えている。

【参考文献】

立体大全 『素材 [樹脂・粘土・ガラス・金属・木・紙・布]+道具+テクニック』美術出版社。

(にしこおり ひでゆき・美術科)

E-mailアドレス: hideyuki@edu.shimane-u.ac.jp